

平成 25 年 6 月

カラカラノカラツユカハクカタツムリ  
アンモナイトの裔にやあらむカタツムリ  
お絵描きや苺の蒂を上手く描き  
挨拶やまず梅雨入のことにふれ  
金ピカの衣裳をつけて屑金魚  
山あぢさゐの素朴を愛でて歩き出す  
空梅雨の音ダム底に石蹴れば  
昆虫の腹見せ亡骸の蛭は  
落ち着きのない蟻もいて蟻の列  
果肉てふ衣脱ぎたる枇杷の種